

# 科目名 放射線計測学演習

1単位 30時間 夜間部4年 前期 担当講師 三本 拓也

## 教育目標

放射線計測学に関する過去国家試験問題の演習解説を行う。放射線計測学について体系的に整理し、理解を深めるよう指導することで、診療放射線技師国家試験に対応できるようにする。

使用教材 改訂 放射線基礎計測学 三枝 健二 他 医療科学社

推奨参考書 改訂 スリムベーシック 放射線計測学 福土政広 他 メジカルビュー

出欠確認方法 点呼 試験 有 評価方法 試験および出欠など

## 授業概要（前期）

- 1回 計測学概要および単位【演習と解説】
- 2回 物質の相互作用【演習と解説】
- 3回 電離箱線量計【演習と解説】
- 4回 比例計数管【演習と解説】
- 5回 GM計数管【演習と解説】
- 6回 シンチレーション検出器【演習と解説】
- 7回 半導体検出器【演習と解説】
- 8回 高線量測定器(化学線量計) および飛跡検出器・二次元検出器【演習と解説】
- 9回 個人被ばく線量計素子(TLD、OSL、RPL)【演習と解説】
- 10回 放射線のエネルギー・線質測定【演習と解説】
- 11回 放射線、放射能の測定【演習と解説】
- 12回 照射線量・吸収線量・線量当量の測定【演習と解説】
- 13回 吸収線量の測定(標準計測法)【演習と解説】
- 14回 計測学における統計量(標準偏差、誤差)【演習と解説】
- 15回 計算問題【演習と解説】

## 【実務経験】

診療放射線技師として国立病院（総合病院）に7年間勤務。医療機関での実務経験をもとに放射線計測学について話をします。